



国際ロータリー第2630地区

高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2007～2008年度 高山中央RC会長テーマ

第724回「**戮力協心**」 H19・8・20

〈点 鐘〉会長 松之木 映一さん

〈ソング〉我等の生業

〈四つのテスト〉会長 松之木 映一さん

〈出席報告〉

本日の出席…34名 出席率…80.95%

前々回の補正…41名 出席率…97.62%

〈ゲスト紹介〉

国際ロータリー第2630地区

地区拡大増強委員会アドバイザー 寺田 澄夫様
(郡上長良川RC)

〈幹事報告〉 副幹事 足立 常孝さん

◎ガバナー事務所より

・地区大会登録のご案内

日 時：11月17日(土)～18日(日)

会 場：長島温泉ホテル「花水木」

登録料：12,000円

・地区委員会カウンセラー変更のお知らせ

〈米山梅吉記念館より〉

・館報

〈平塚湘南ロータリークラブより〉

・事務局移転のお知らせ

住所：〒254-0014 平塚市西之宮5-8-20

TEL 0463-51-4870

FAX 0463-51-4840

〈高山せつ城ライオンズクラブより〉

・2006～2007年度年間活動記録誌の受贈

・高山5クラブ親善ゴルフ大会のご案内

日時：11月11日(日)

場所：高山カントリークラブ

参加料：8,000円

プレー料は各自清算

〈会長の時間〉 松之木 映一さん

皆様こんにちは。先日の「皆出席者感謝の夕べ」では、発起人の橋本さん、岩垣津さん、すばらしい企画で楽しい会になり、ありがとうございました。

何人かの奥様から「来年もこの会に出席したいから今年も皆出席して下さい」と旦那様にはっぱをかけて励ましてみえたので、全会員の皆様も皆出席目指していただけます様よろしくお祈りします。

8月18日(土)～19日(日)に高山市青少年市民会議主

催で国立乗鞍青少年交流の家キャンプ場で、少年野外活動(キャンプ)が行なわれましたので、私と、永家幹事、津田久嗣さんとで指導員という形で参加してきました。

参加した子どもたちには、セレモニーから礼儀正しく指導され、テントの張り方、ナタやノコギリの使い方、ロープの結び方など研修しながらの楽しいキャンプで、良い思い出になったことと思います。

「立つ鳥 後を濁さず」という言葉がありますが、次に利用する人のためきれいにして帰る。これは本当に大事なことだと思います。

おとな達は子どもをできるだけ危険から遠ざけようとすると、落ちたらいけないと池に柵をめぐらせたり、けがをするからと遊戯器具を撤去したりします。「転ばぬ先の杖」はもちろん大切ですが、あれも危ない、これも危ないと事前に危険の芽をつむことが、危険を察知し、回避する能力や、注意力を鈍らせ更に事故を招いていることが多いのではないのでしょうか。世の中にはいたるところに危険が潜んでいます。そのすべてを事前に取り除くことなど出来るものではありません。とすればおとながすべきことは、危険の芽をつむのではなく、世の中の現実の姿を教え込むことだろうと思います。自らの安全は自らの責任で守るもの、その当たり前のことを忘れないで欲しいと思います。

日々安閑として過ごしていて、事故がおけると他に責任を転嫁する、それが今の現実かもしれません。自己責任の大切さをこのキャンプを通じて少し考えさせられました。

〈本日のプログラム〉 会員増強委員長 剣田 広喜さん

本日は会員増強委員会の担当例会でございます。

又、8月は会員増強月間ということで、地区拡大増強委員会のアドバイザー郡上長良川ロータリークラブの寺田澄夫バスター会長に卓話をお願いいたしました。ロータリーに精通され、専門的知識をお持ちのアドバイザーですので、ご清聴よろしくお祈り申し上げます。

〈卓 話〉 国際ロータリー第2630地区

地区拡大増強委員会アドバイザー 寺田 澄夫様
(郡上長良川RC)

地区拡大増強委員会の寺田でございます。郡上長良川RCより出向しております。紹介がありましたように、アドバイザーという名のみの役目を仰せつかっております。ご承知の様に、8月は会員増強月間でありまして、RI、地区、そして増強委員会としても剣田委員長が8月のガバナー通信でも述べておられますように、純増1名を是非お

創 立 1991年5月20日

- ◆例会日 / 毎週月曜日・PM12:30～
- ◆例会場 / ひたホテルプラザ3F・☎(0577) 33-4600
- ◆事務局 / 高山市花岡町1-15 丸越商事4F
/ ☎(0577) 36-0730 / FAX (0577) 36-1488
/ ホームページアドレス <http://www17.ocn.ne.jp/~t-c-rc/>
- ◆会 長 / 松之木 映一 ◆幹 事 / 永家 将嗣

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1 真実か どうか
 - 2 みんなに公平か
 - 3 好意と友情を深めるか
 - 4 みんなのためになるか どうか



願いたい。貴クラブはすでに女性会員を増強しておられ大変嬉しく思いますが、今期地区内女性会員が、100名に達成するよう願っている所です。

先般の地区合同研修セミナーで感じた事です。大垣中RCへ卓話で訪問した折、高橋会長と互いにセミナーの感想

を述べ合ったのですが、研修中の中休憩後会場を見渡すと三重県側の席はほぼ元通りになっているのですが、岐阜県側の席は半数以下の状態ですね。これはもうロータリアン1人1人の意識の問題です。この事で両県を評してはいけないと思いますが、剣田委員長がセミナーで示された資料をご覧頂くとよくお判りと存じますが、岐阜県の退会者が驚く程多い事です。

セミナーの後半に実施されました入会4~5年会員（フレッシュマン）とパスト会長などによるディスカッションの中で、フレッシュマンから入会後のロータリーの教育を殆ど受けていないとの意見が多く出ました。飲み会的親睦は図られているものの、勉強会は中々行なわれていないのが実情で、このあたりが退会の要因の一つとなっているのではないのでしょうか。前期の地区大会のアンケートの発表で若い世代（35~50歳。ロスとゼネレーション）や、フレッシュマンがロータリーに魅力を感じなくなり退会する傾向が見られます。入会時は異業種で親睦や情報、そして商売が結構成り立つものだったものの期待した程のメリットがなかったからだと思います。そこにはもうロータリーのステータスは存在しません。最近の日本のロータリー全体をみますと親睦とか社会奉仕に軸足が傾いているように思われます。もちろん大切なものですが、先ほど提唱されました四つのテストを今一度学び、職業奉仕が第一と言う事を忘れてはならないと思います。

小泉から安部内閣へと変わりましたが、地方格差、企業格差が益々進んでいる中、剣田委員長も述べられています。クラブ間格差も広がっています。経済格差やロータリー意識の格差がついてきているのも事実です。

新会員候補者を例会にお呼びしても充実してないクラ

ブ、例会場の活性化や設定がきちんとされていない状況を目のあたりにしたその人はどう感じるでしょうか？更に剣田委員長は出席率と退会者数は比例すると表示されています。貴クラブは85%前後で推移されているようですがまさにその通りで、四日市西クラブと貴クラブは増強率NO1、2に位置しておられます。今期地区大会での表彰は間違いありません。私のクラブは前年期R1会長賞に挑戦しました。又R財団への寄付金をメンバーに強くお願いし、地区2位になれたようです。クラブがこのような表彰を受けられたり、地区役員を輩出される事はクラブにとっても刺激となり励みともなるものです。

クラブ充実こそがロータリーの品格が保たれ、地域の人々に認められるメンバーであり、団体になるものだと思います。そこから自ずと増強も図られていくのではないのでしょうか。ご清聴ありがとうございました。



十七日・感謝の夕べ



十八日・十九日・少年野外活動

（お祝いは次回号に掲載いたします。）

〈会報委員会 坂之上 健一〉

〈ニコニコBOX〉

初めて貴クラブを訪問させていただきます。

地区では剣田委員長と拡大増強委員会を担当させていただいております。拙い卓話になると存じますが、なにとそお許し下さい。よろしく願いいたします。

国際ロータリー、第2630地区

地区拡大増強委員会アドバイザー 寺田 澄夫様
(郡上長良川RC)

郡上長良川RCの地区拡大増強委員会アドバイザーの寺田澄夫様、本日は遠路ようこそいらっしゃいました。

卓話よろしく願いいたします。

執行部一同と顧問会員増強員長

17日の100%出席奥様感謝の夕べでは、橋本永幹事のおかげで楽しいひと時を過ごせありがとうございました。

三枝 祥一さん

寺田さんのご来訪を歓迎申し上げます。久々野さんに催促されましたのでニコニコへ…

高原 清人さん

ニコニコの木谷さんご苦勞様です。

皆様よりたくさんニコニコへ入れてもらって下さい。
久々野 国良さん

昨日、全飛団体剣道大会の高段者（四段以上）の部に副将として出場しました。

決勝リーグの最終試合で、私が勝てば優勝という場面で思いきった一本を決めることができました。

うれしかったです。 渡辺 修治さん

家族の納涼例会にはたくさんの皆様にご参加いただき感謝いたしております。

次回は10月20日（土）～21日（日）の2日間で、家族にて平塚湘南ロータリークラブへの訪問です。

今からスケジュールを空けておいていただきたいと思っております。（追伸）100%出席の奥様感謝の夕べの際には、幹事の橋本さん、副幹事の岩垣津さん、どうもありがとうございました。

伊藤 正隆さん